

山陰近畿自動車道の早期供用に関する

要 望 書

令和元年 11 月

山陰近畿自動車道整備推進協議会

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸の高速道路ミッシングリンクを解消し、日本海国土軸を形成する重要な道路です。

本道路の整備により、①南海トラフ地震等、大規模災害時のリダンダンシーの確保、②山陰海岸ジオパークをはじめとする広域観光交流圏の拡充・強化、交流人口の拡大、③日本海沿岸地域の産業活動の発展と企業立地の促進、④地域と医療拠点をつなぐ命の道ネットワークの確保等の効果が期待されます。

整備にあたっては、地元の理解や協力を得ながら、事業が円滑かつ着実に進むよう、3府県が連携して取り組めますので、引き続き全線の早期整備に向け、下記の事項について強く要望します。

## 記

### 1 事業中区間の予算確保

以下の区間について、重点配分や補正予算編成等、予算確保を図ること。

- (1) 岩美道路：事業推進に必要な予算確保
- (2) 浜坂道路Ⅱ期：事業推進に必要な予算確保
- (3) 大宮峰山道路：直轄権限代行事業の促進及びアクセス道路の事業推進に必要な予算確保

### 2 未事業化区間の早期事業化

以下の区間について、早期事業化に向けた支援をすること。

- (1) 鳥取～福部：計画段階評価の促進及び早期事業化
- (2) 佐津～豊岡北：早期事業化に向けた調査費の予算確保
- (3) 豊岡北～城崎温泉：直轄による調査の実施、直轄権限代行による早期事業化
- (4) 城崎温泉～府県境：直轄による調査の実施、直轄権限代行による事業化
- (5) 府県境～網野：道路調査費補助の新規採択、将来の直轄権限代行による事業化
- (6) 網野～大宮峰山：早期事業化に向けた支援

### 3 重要物流道路の指定

山陰近畿自動車道を重要物流道路に指定し、広域道路ネットワークとして機能強化を図るとともに、重点支援により整備の加速を図ること。

### 4 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の拡充・継続

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を着実かつ集中的に推進するとともに、近年の大規模災害の頻発を踏まえ、3か年後も対策の拡充・継続を図ること。

### 5 道路関係予算の総額増加

山陰近畿自動車道をはじめ、真に必要な道路の整備や老朽化対策などを着実に推進、実施するため、新たな財源の創設を含め、道路関係予算の総額を増加すること。

令和元年 11 月 20 日

山陰近畿自動車道整備推進協議会

会 長 京都府知事 西脇 隆俊

兵庫県知事 井戸 敏三

鳥取県知事 平井 伸治